



# 吸排気弁 NAV-S 20

## IM84 取付け・取扱い説明書

ご使用の前にこの説明書をよくお読みください。

### 仕様

- 使用流体…水道水（常温）
- 使用圧力…0.05 ~ 1.0MPa
- 耐 圧…1.75MPa

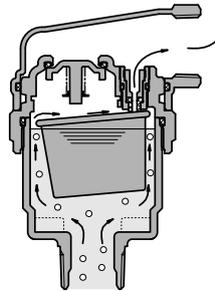
#### 注意

- 仕様の範囲でご使用ください。吸排気以外の目的、水撃対策や使用圧力範囲外等での使用は、漏水や故障の原因となりますのでおやめください。

### 機能

急速吸気性能：**425 l / min**

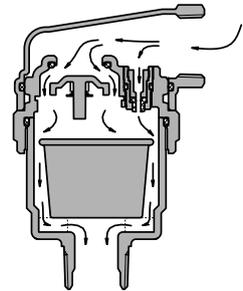
自動空気抜き



空気が溜まってくるとフロート弁体が傾き、自動的に空気を排出。

充水時は小空気孔より排気。

急速吸気（負圧破壊）

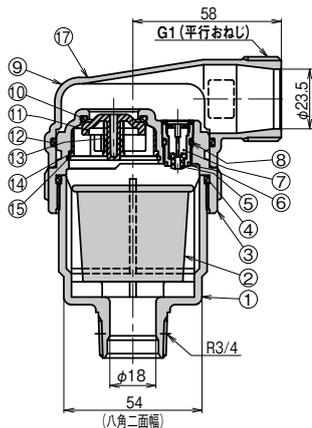


一次側負圧時には大空気孔弁体とフロート弁体が落下し、多量の空気を吸い込み、サイフォン現象による逆流を防止。

### オプション品

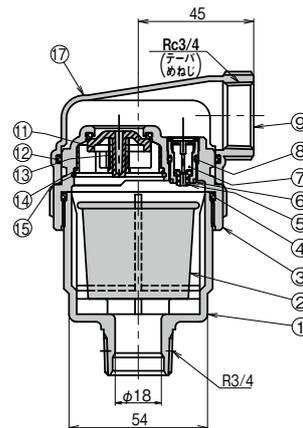
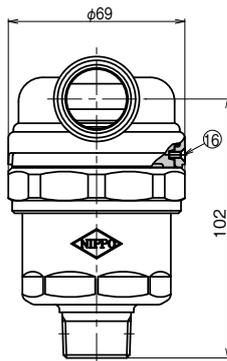
- ボール止水栓内ねじ（片側管端コア付き）20

### 構造



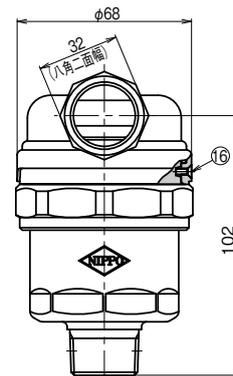
NAV-S-G

（排水配管接続部：管用平行おねじ、ナット接続）



NAV-S-I

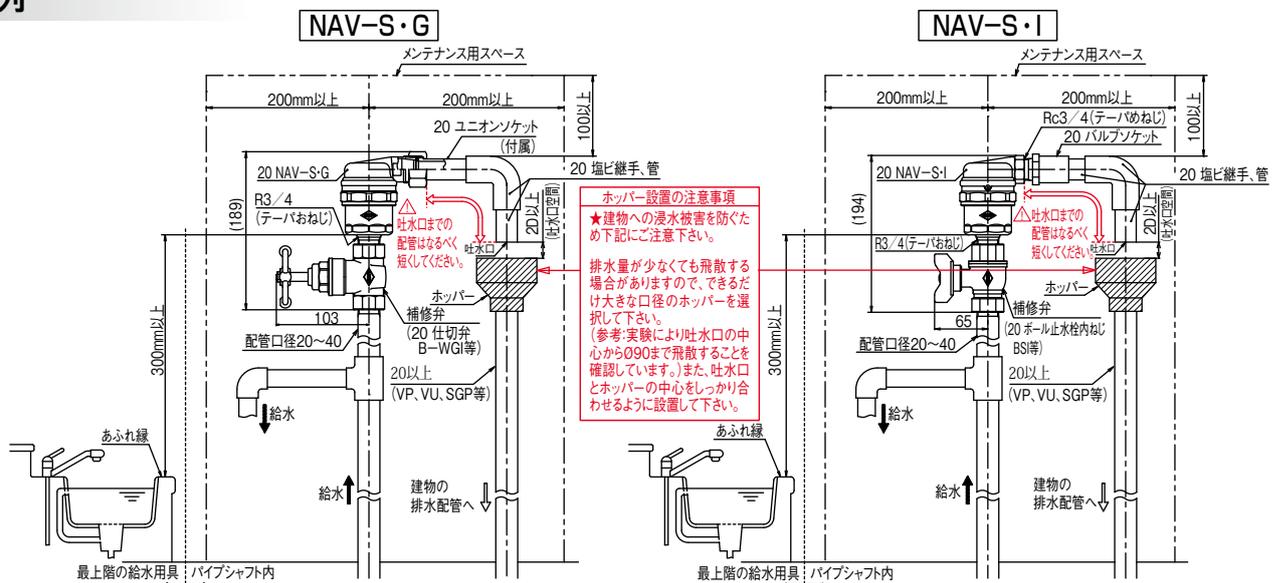
（排水配管接続部：管用テーパめねじ）



#### ■ 主要部品表

品番	部品名	材質
1	本体	CAC911
2	フロート弁体	NBR+フェノール樹脂
3	ボンネット	CAC911
4	Oリング	NBR
5	小空気孔パッキン	NBR
6	小空気孔パッキンホルダ	CAC406C
7	小空気孔パッキン押え	CAC406C
8	Oリング	NBR
9	カバー	CAC911
10	Oリング	NBR
11	大空気孔弁体	POM
12	Oリング	NBR
13	大空気孔ばね	SUS304
14	弁箱	POM
15	止め輪	SUS304
16	十字穴付皿小ねじ	SUS304
17	注意喚起ラベル	合成紙

### 設置例



## 取付け・取扱い上の注意

- 吸排気弁は維持管理を要する器具です。パイプシャフト内に設置の際は、器具に容易に手が届く十分なメンテナンス用スペースを必ず確保してください。また、建物の外壁に沿う配管等へ設置する際には、安全に維持管理ができるよう配慮してください。
- ねじ部は鋭利なため、直接素手で握らないように注意して扱ってください。また、取付け作業は、手袋等をして行ってください。
- 取付け前に必ず洗管し、ごみ等の異物を十分に排出してください。
- 取付け姿勢は鉛直とし、2°以上傾かないようにしてください。傾きが大きいと動作が緩慢になったり、排気量が少なくなる等の支障をきたす場合があります。
- 給水器具や水受け容器のあふれ縁より300mm以上、上方に設置してください。(設置例を参照)
- 配管の際には適切な支持及び固定を行ってください。また、故障時等の出水による被害を防ぐため、必ず前記設置例を参照の上、建物の排水配管へ接続してください。吐水口空間を設けず直接排水配管へ接続しますと、汚水の吸い込みや、吸気機能が損なわれるおそれがあります。
- ホッパー(レデューサー)は、万一の排水を確実に受けられるように施工してください。排水の状態によっては、吐水口から外側へ飛散する場合があります。
- テーバねじはシールテープ等のシール剤を使用し、確実にねじ込んでください。
- ボール止水栓や仕切弁等、開閉の容易なハンドル付補修弁(玉形弁など、内径が絞られている弁は不可)を必ず取付け、ゆっくり開閉し、全開で使用してください。中間開度での使用はおやめください。
- ボール止水栓や仕切弁等の補修弁を開いて吸排気弁に充水する際、充水速度が大きい場合、多量のエアを巻き込みながら充水される場合、あるいは一時的な異常低圧が生じた時等、フロート弁体の作動により吐水口空間へ水を排出することがありますが、異常ではありません。
- 凍結が予想される場合は、保温等凍結防止策を講じてください。この時、吐水口空間を塞がないでください。
- 解氷作業等による直火での加熱は、漏水の原因となりますのでおやめください。

## 保守・点検

吐水口で排水が認められる場合、次の手順で分解し、ごみ等の異物を除去して弁内部の点検を行ってください。

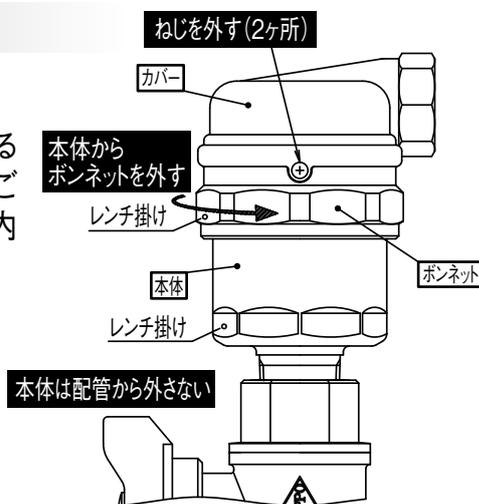


図1

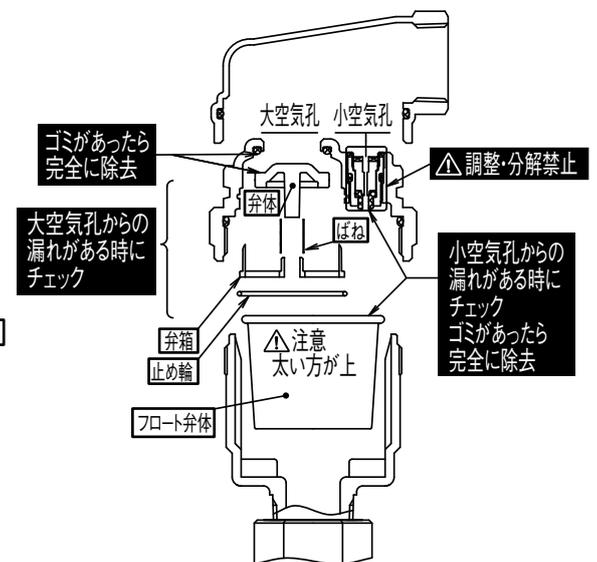
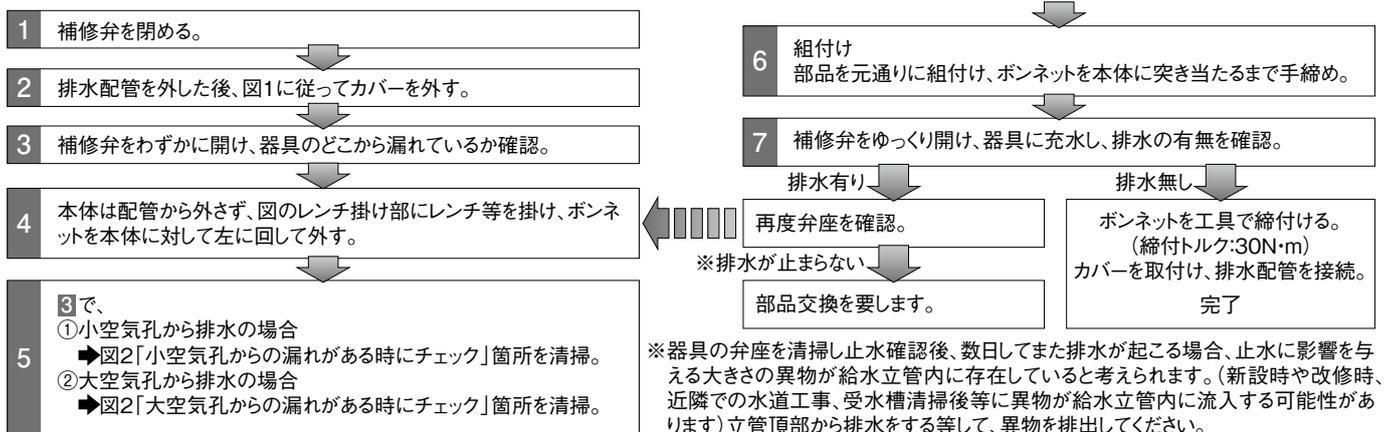


図2

### 分解・清掃の手順



素敵な創造 ~人へ・未来へ

**株式会社 日邦バルブ**

本社・松本工場 〒399-8750 松本市笹賀3046  
 北海道工場 〒059-1362 苫小牧市柏原6-120  
<http://www.nippov.co.jp/>

お問い合わせ先	
東京	TEL.03-5338-2231
札幌	TEL.011-232-0471
仙台	TEL.022-213-3177
北関東	TEL.0283-22-7547
神奈川	TEL.042-741-7121
松本	TEL.0263-50-5221
名古屋	TEL.052-735-6511
大阪	TEL.06-6210-2563
広島	TEL.082-232-8117
福岡	TEL.092-472-5128

ISO 9001・14001 認証取得